

例会報告

第2513回例会報告議事録

日時 30年2月20日(火曜日)

場所 川村学園女子大学 我孫子キャンパス内 会議室

時間 12:15点鐘

ロータリーソング「それでこそロータリー」

ビジター：なし

S.A.A.：依田会員

ゲスト：陳徳思さん(米山奨学生)

キョウ雪 様(2017学年度 千葉RC 米山奨学生 麗沢大学大学 言語教育研究科)

カン パンナレット 様(在日カンボジア留学生協会 千葉大学 建築学科)

会長挨拶

服部会長



ご案内の通り今月の25日(日)の地区大会にはバスを手配して参加者全員で行きます。どうぞよろしくお願いいたします。

来月13日(火)には10分区のIM、合同例会がクレストホテルで開催されます。できるだけ多くの方に参加していただきたいと思います。

今、10分区と呼んでいるのですが、来年度7月以降は分区という言い方を改めてグループという言い方になるそうです。第10分区は第11グループになる予定です。ひとつづれるのは、千葉市の第3分区はAとBと2つあり、第3分区のAが第3グループ、第3分区のBが第4グループになるためだそうです。

中央学院高校の野球部が選抜の甲子園に出場するというので、先週、会長幹事と小池会員の3名でお祝いをお渡しに行きました。10万円お祝いの原資は皆さんから募ると言う事で理事会で決めたのですが、募金で不足の分は会費から充当します。決勝まで進むことになったら嬉しいので、その時は再度やらせていただきますとお話をして帰ってきました。後ろにポスターが置いてありますので、事務所や会社に貼っていただける方は応援していただきたいと思います。

今日は米山奨学生の3名の方の卓話がありますので、楽しみにしたいと思います。

親睦委員会報告

米田委員長

本日は特にございません。旅行の方はよろしくお願いいたします。

出席報告

渡邊委員長



17名出席(全員で27名) 出席率62.96%

欠席者が10名。

業務の為：今井会員、上村会員、倉持会員、志賀会員、澁谷会員、
関根会員、高島会員、福武会員、前田会員、柳田会員、
湯下会員

地区大会について

小池会員



2月25日の地区大会の日は、朝早くから行っていただいておりますお手伝いをさせていただき、ぜひご協力をお願いいたします。7時半に桜の間に集合し、赤いジャンパーを着て、受付に移動していただき、そこで具体的に誰がどこで、という説明を受ける形になります。

本当に申し訳ないのですが、最後の懇親会の時間も共有してもらいたいという柏クラブの願いもありますので、早く帰らないで中締めが終るまで待機していただきたいと思います。

次年度の地区研修会について

依田会員



4月29日(日)に次年度の地区研修会がアパホテル・リゾート東京ベイ幕張で開催されます。予定をお空けください。



・今週日曜の地区大会ですが、参加される方にはバスの乗り合いの時間をお渡ししました。時間厳守でお願いします。
 湖北駅を6時にスタートし、我孫子駅で6時半にピックアップ、7時半までに幕張のホテルニューオータニに到着予定です。
 現地出発が17時45分頃で、戻りは19時頃になる予定です。お時間のご都合のつかない方は申し訳ないのですが、帰りは電車等でご自分で帰っていただければと思います。変更等ございましたら私の方までご連絡ください。

米山奨学生のご紹介



今日は3人の米山奨学生の方に卓話をさせていただきます。
 米山奨学生というのは年間800人の海外の学生を受け入れており、今まで累計で2万人の奨学生を受け入れています。年間13億円かかっており、民間の奨学制度としては国内最大だそうです。
 今日は特別奨学金を回しますので、お名前と金額と今日の日付けを書いて入れていただければと思います。よろしくお願ひいたします。

卓話



陳 徳思(ちんとくし)さん

今日はキョウ雪(キョウ セツ)さんとナレットさんがメインです。どうぞよろしくお願ひします。キョウ雪さん、ナレットさん、今日は来ていただいてありがとうございます。

今日はこれが終わった後、鈴木さんの幼稚園に行って、手作りの水餃子を作ります。失敗しないように頑張りたいと思います。今度の例会には水餃子を持ってきますので楽しみにしてください。夜には焼き肉屋さんに行きます。ありがとうございます。



キョウ 雪(キョウ セツ)さん

今年の4月から米山奨学生として千葉ロータリークラブにお世話になっております。カウンセラーの方は千葉テレビの社長をされている上田誠也さんです。

本日は皆さんの前でお話しする機会を与えていただき、とても光栄に思います。せっかくの機会ですので、どんなに簡単な言葉でも楽しんで自分の思いを伝えていきたいと思ひます。

2014年の4月に中国の深圳(シンセン)から参りました。深圳(シンセン)は香港の隣で、香港から電車で15分くらいの場所にあります。

今年の4月で来日4年になります。振り返って見るとあっという間でしたが、よく考えて見ると、いろいろな人と出会って、たくさん新たなことを体験することができ、とても充実して楽しかったです。

昨年の4月から米山奨学生になり、そろそろ1年が経ちます。奨学生になり、最初のオリエンテーションを初め、お世話クラブの例会、研究会、本日の卓話も含めていろいろな活動に参加させていただきました。本当に感謝しています。

日本に来てから、日本を選んだ理由は何かといつも質問されます。もちろん、日本のアニメや漫画が好きとか、日本の景色が好きとかで日本に来た人もたくさんいらっしゃると思いますが、私はちょっと違います。実は本日、このような正式な場でお話ししてもいいのかなと考えましたが、かっこをつけるより正直にお話しした方が許される気がしますので、お話ししたいと思ひます。

留学先に日本を選んだ理由は、嵐というアイドルグループが好きになったからです。

嵐との出会いは、嵐の松本さんが出演した2008年の「花より男子」というドラマです。それから日本のドラマを見始めました。嵐というグループが好きでしょうがなく、日本に留学しようと思ひました。中国の日本語学校に通い始め、日本語をより正しく話したい、ネイティブの方と話してみたいという気持ちがあります。強くなり、2014年の4月にずっと憧れていた日本にやっと参りました。

日本でネイティブの先生の授業を受ける中で、日本の文化を肌で感じる事ができています。

もちろん日本に来たばかりの頃、日本語があまり出来なくて、たくさん苦労しました。

学校に行く途中で道がわからなくなり、先生に電話して、どこにいるかと聞かれた時、駅の名前ではなく、3番線ですと言ってしまいました。

夜の9時頃に百円ショップにいて営業時間を知らなかったのに、「いつ閉店ですか」と聞いてしまったこともあります。

また、今でも笑われている大事件があります。南柏で鍵を落とした時、駅の係員さんに「カニ」を落としたんですが、と言ってしまいました。駅の係員さんは優しくしたのですが、返事が来るのに約5秒間かかりました。「どんなカニですか。冷凍食品ですか」と聞かれた時点で、自分がどんなに不思議はことを言ってしまったか気づきました。

このような事件は数えきれない程ありました。恥ずかしかったですが、一生忘れられない思い出になるでしょう。

日本語学校で楽しい1年間を過ごし、自分の心で感じた日本文化を中国人に伝えたいという思いが増すにつれて、ひとつ大きな夢が芽生えました。それは日本語の教師になることです。そのために麗沢大学大学院の日本語教育学専攻に入学しました。

大学院の授業で、日本語のしくみや、外国語を学ぶプロセス等を学ぶことはとても楽しいと感じています。日本語教師になりたいという目標を立てたので、大学院の先生達のもとで日々楽しく勉強や研究に励むことができています。

ロータリークラブに入ってから最も印象に残ったのは、ロータリアンの方々の奉仕という精神です。毎月の「ロータリーの友」を通して、ロータリアンが世界の理解、平和のために非常に素晴らしい奉仕活動を行っている事に気づきました。奉仕という言葉はロータリーのキーワードのような言葉だと思えます。

抽象的な奉仕という言葉をごどのように解釈すれば良いのか、米山奨学生になってからずっと考えてきました。

私にとって奉仕というのは、必要な人に目に見える物質的なものを与えるだけではなく、人の精神的な面を支える事も奉仕だと考えています。出来る限り、人を助ける事や、よい雰囲気を作ろうと心がけることも奉仕であり、人に優しく接する事も奉仕だと思えます。今の自分は平凡な人だから奉仕なんてできないと思っていたら大間違いです。

ロータリー米山奨学会は私にとって大事な存在です。

最後に、この場をお借りして、自分のカウンセラーのようにいつも暖かく見守ってくださる鈴木さんと鈴木さんの奥様に心より感謝申し上げます。昨年の10月にロータリーの研修旅行があり、自分のカウンセラーが用事で行けず、鈴木さんに大変お世話になりました。その後、鈴木さんの幼稚園に見学に行ったりしました。教師を目指しているのも、その経験は何よりも貴重でした。自分のカウンセラーや鈴木さんに出会って、たくさんのお話ができて非常に嬉しく思います。奨学生が終了しても、このご縁を続けたいと思います。

ロータリーの益々のご発展をお祈りしながら私のスピーチを終らせていただきます。くだらない話もありましたが、ご清聴ありがとうございました。



カン・パンナレットさん

千葉大学建築学科のナレットと申します。カンボジアから参りました。

私は2012年に日本に来ました。家族は6人家族で、父母、兄が2人、妹が1人です。その当時は兄弟は学生でしたが、今は社会人になっています。父は警察官でしたが、今は58歳で定年退職しています。向こうは定年が早いです。

カンボジアにいた時は、高校卒業後、大学で工学と英語を勉強しました。日本への留学試験に受かって、日本に来る事にしました。

家族は海外留学の支援を全くできないのですが、日本の政府のおかげで学費と生活費を支援していただいて日本に来る事ができています。

日本に来て、初めは日本語学校に通いました。

日本語学校にはいろんな外国の方がいました。その時、私は自分の国の文化だけが正しく、他の国の文化は悪いと思っていましたが、みんなとよく話したり、遊んだりしているうちに、他の国の文化についても理解できるようになりました。

その後、宮崎にある都城高専の建築学科に3年生編入しました。高専には外国人は3人しかおらず、私はその時22歳で、同級生は皆18歳でした。ちょっと年寄りの気持ちでしたが、半年くらい経ったら、自分も18歳と考えるようになりました。高専が終わった後も同級生との交流が時々あります。

高専では3家族でホームステイをさせていただき、親のようにいろんなお世話をしていただきました。特にお正月にひとりであった時にホームステイの方が呼んでくださって、めちゃくちゃ嬉しかったです。1月1日におせちを初めていただきました。

他の外国の方より運がよかったと思います。いろんなことをやりました。

ホームステイ先の方に鹿児島島の砂温泉に連れて行ってもらったり、風船に乗って都城を上から見るとできました。

23歳の時に初めて飲食店でアルバイトをしました。高専が終ると奨学金を延長できないので、大学に入る為にアルバイトを始めました。まだ日本語がしゃべれず、注文を間違えたりしてお客さんにめっちゃ怒られました。

アルバイトでいろんなことを学びました。たとえばお客さんに持って行く時も、お客さんが入って来るときも笑顔でいるようにしました。従業員の人も仲良くなりました。千葉に来る前にアルバイト先の人たちが送別会をしてくれて、大変嬉しかったです。

2016年に千葉大学の3年生に編入しました。千葉大学では100%独立しました。自分でアパートで一人暮らしをしました。引っ越して最初にする電気ガス水道の手続きも一人でやりました。市役所へ行って転入の手続きやビザ変更の手続きも一人でやりました。自分も大人になったなと思いました。

2017年にロータリーの米山奨学会で奨学生として採用していただき、ありがとうございます。アルバイトの時間も減らす事ができ、めちゃくちゃ助かっています。自由な時間ができて、勉強をしたり、ボランティア活動にも参加することができています。

初めてボランティア活動をしたのは在日カンボジア留学生協会です。さまざまなイベントで自分の力を出せて、いろんなボランティア活動を通して皆に信じてもらえ、今、私はその協会の会長をしています。

先週、4年生の卒業発表があり、今年の4月には千葉大学の大学院1年生になります。今は米山奨学金をいただけていて本当に感謝しています。

国費留学生の時は、毎月お金をもらうだけで感謝の気持ちはありませんでした。でも、ロータリーの奨学生になってからは、ご飯を食べている時に時々、「私がいただいているご飯はロータリーの皆様が頑張っていて支援してくださったから、いただけているんだな」と本当に感謝の気持ちでいっぱいです。支援していただいた分を皆様に直接返却する事はできませんが、次の時代の子ども、未来の子どもに返却したいと思っています。

ご清聴ありがとうございました。

鈴木カウンセラーより



僕から見た一人一人の側面、個性を少しお話したいと思います。

米山の伊豆への探訪旅行に一緒に行きました。米山梅吉の墓標を訪ねて彼の功績を確かめる旅でした。

昼食の時にナレットが僕の隣にいたのですが、彼の一つ一つの作法が、今の日本人が忘れてしまった、丁寧で、愛情にあふれたものでした。いい青年だなと思いました。いろんな留学生がいる中で、僕の目にとまった素敵なお父さんでした。

嵐が大好きなキョウ雪さんは、徳ちゃんの親友ですが、歌が本当にうまいです。彼女は日本語が下手だと言いますが、頭がよく、素晴らしいです。うちの幼稚園に何回か来る機会があったのですが、作品展という展示会でひとつひとつ熱心に見て学ぶ姿勢に感銘を受けました。

私たちは人の生い立ちや苦労を知る度に、自分に何かできないかという気持ちが湧き上がるものです。

カンボジアの平均寿命は65~70歳だそうで、定年が日本より早いようです。ナレットのお父さんは55歳で警察官を定年されていて、4人兄弟の3番目で決して家計は楽ではないのだと思います。

よく留学生の話をする、事情をよくご存知でない方は「みんなお金持ちの子弟ばかりでしょ」とおっしゃいますが、僕はそうではないと思います。

知り合った出会いに感謝しながら、ずっとずっとつながっていくことが幸せだと思っています。我々が一番してほしいことは、どこかに行ったら縁が切れてしまう事です。

こんなにいい役を何年もやらせてもらっていることを本気で申し訳なく思っています。先日、家内にまた米山カウンセラーをやるんだと言ったら、「あなたばかりいい役をさせてもらうなんて申し訳ないから、もうやめなさい」と叱られました。木村さんが会長をやった後にはカウンセラーを、という話はできていますので、みんなが米山の素晴らしい味を味わいながら頑張れたらと思っています。ありがとうございました。



卓話ありがとうございました。

閉会の言葉

服部会長

今日は米山の奨学生の皆さん、お話をありがとうございました。一生懸命、自分の考えを伝えたいと言う真摯な気持ちが伝わってきました。これからも頑張っていたきたいと思います。

お三方が入ると、こんなに雰囲気明るくなるのかと思いました。またいらしていただきたいと思います。カンボジアの方は初めてですね。頑張ってください。

日本にはシャレというのがあります。たとえば、今日、出しなに家内とトラブルったのですが、ケンカしても私は絶対に負けるんです。「家内(かない)にはかないません」こういうのがダジャレです。究極の日本語のおもしろさはダジャレにあると私は思っています。ダジャレという言葉が出た時には、我孫子ロータリーの会長の服部が言っていたなと思い出していたきたいと思います。

今日は本当にお三方、心に沁みる卓話をありがとうございました。

ニコニコBOX

お名前	メッセージ	金額
服部会長	米山奨学生の皆さん勉強頑張って下さい。	1,000円
村越会員	米山奨学生の皆さん 卓話ありがとうございました。	1,000円
木村会員	奨学生の皆さん 卓話ありがとうございました。	1,000円
佐藤会員	卓話ありがとうございました。	1,000円
鈴木会員	米山奨学生3人の訪問 実現でき感謝です。	3,000円
瀧日会員	米山のすばらしい卓話をありがとうございました。	1,000円
藤本会員	3名さま楽しい卓話ありがとうございました。	1,000円
当日計		9,000円
今期累計		243,000円

今週の表紙「杉村楚人冠邸」千葉県我孫子市緑2丁目5番5号

杉村楚人冠は明治末期から昭和前期にかけて東京朝日新聞で活躍したジャーナリストです。

関東大震災で二人の子供を失ったのを機に一家で我孫子に移住し、手賀沼の景観保護への取り組み、我孫子ゴルフ倶楽部の開設等、我孫子の発展に尽力しました。邸内には楚人冠の愛した椿の花がたくさん植えられています。平成22年に我孫子市の指定文化財になりました。

ロータリーの友事務局 ホームページ www.rotary-no-tomo.jp メールは web@rotary-no-tomo.jp

環境NPOオフィス町内会が中心となって2005年に立ち上げた新たな間伐促進活動が「森の町内会」です。この活動に賛同して「印刷用紙」や「コピー用紙」を使用する企業は2009年9月現在、92社にのぼり、その環境貢献として促進される岩手県岩泉町・葛巻町・青森県三沢市での間伐は、年間30haの規模になっています。グリーン購入大賞で大賞を、山村カコンクールで林野庁長官賞を受賞しています。



この印刷物に使用している用紙は、森を元気にするための間伐と間伐材の有効活用に役立ちます。

我孫子ロータリークラブは、環境貢献として、「森の町内会」を応援します。